

相次ぐDBからの重要情報流出被害

◆金融関係A社

内部から顧客情報**148万人**分の顧客情報が流出
 <影響>
 ・社会的信用の失墜
 ・多大な損失額:お詫びとして一人当たり1万円送付

◆音響機器販売B社

外部からの不正侵入による**9万7千人**分の個人情報
 が漏洩
 <影響>
 ・約1ヶ月超のクレジット通販業務の停止
 ・高額な調査費用、顧客への賠償費用
 ・顧客の信頼度低下

問題点 –DBの観点から–

DBに残存するリスクを甘く見ていた

DBのリスクを捉えていなかった

原因

DBのリスクが把握ができていない

DBのリスク洗い出し/分析ができていない

DBのリスクに対する施策検討ができていなかった

解決案

リスクを洗い出し・・・
 ・脆弱性を検出する
 ・現状のリスクを把握する

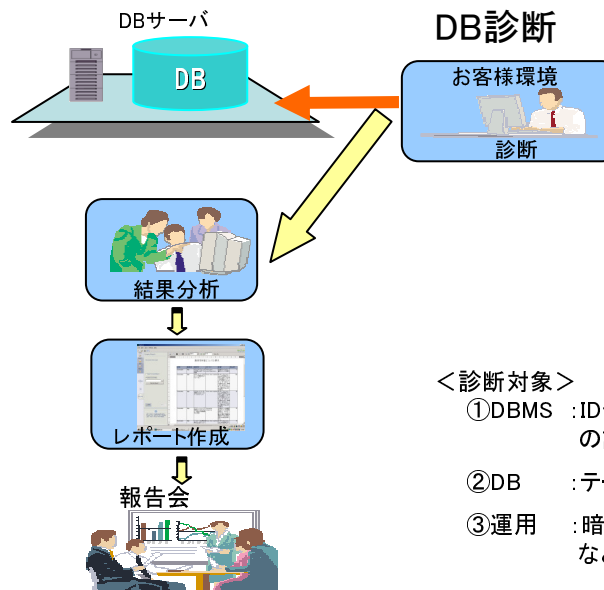
リスクを分析・・・
 ・対策の優先順位を付ける
 ・施策の可否を検討する
 ・対策方法を検討する

残存リスクの明確化・・・
 ・施策によってリスクの軽減、
 予防ができる
 ・残存リスクを把握できる

DBセキュリティ診断サービス

蓄積されたセキュリティノウハウを活かした診断手法によりリスク分析を行います

短期間で打つべき施策が明確になるので、すぐに施策を実行に移せます



<FJQSのリスク分析の特長>

- DBSCガイドラインに準拠した評価にて診断
- お客様環境・運用を考慮した上での脆弱性評価
- 第三者の立場から公正な評価を実施
- 現状リスク、実装施策(案)を報告
- 経営層向けエグゼクティブサマリの作成

<診断対象>

- ①DBMS : IDやパスワードの設定などのDBシステム固有の設定に対して診断を行います。
- ②DB : テーブルへのアクセス権限などの診断を行います。
- ③運用 : 暗号化の有無やログ管理情報取得の有無などをチェックします。

【お問い合わせ先】 株式会社 富士通九州システムズ (FJQS)

東京オフィス 〒144-0035 東京都大田区南蒲田2-16-2 テクノポート三井生命ビル9F

Tel. 03-5703-7028 Fax. 03-5703-7050 (担当:セキュリティセンター)

大分事業所 〒870-8551 大分県大分市東春日町17-58 (ソフトパーク内)

Tel. 097-534-8119 Fax. 097-535-1064

2009. 6